

# 農作物の廃棄ロス削減へ協定

## 青森県南部町とグラウクス

青森県南部町とグラウクス（東京都品川区、関藤竜也社長）は3月28日、農産物の廃棄ロス削減と販路の拡大を図るための包括連携協定を締結した。

同社のフードシェアリングプラットフォーム「KURADASHI.jp」を活用し、規格外や売れ残りの可能性のある農産品を販売、廃棄ロスの解消と農家の所得拡大につなげる。販売で得た収益の一部は、ブルーベリー・アンド・グリーンランド

財団を通じ、児童養護施設や一人親家庭の子供などの自然体験の機会への寄付に充て地域の活性化に貢献する。

南部町では、約1600戸の農家があり、4カ所の産地直売施設では、採れたての新鮮な農産物のほかにも、規格外の農産物、シユースや保存食などの加工品を安価に提供している。同町はグラウクスとの連携により、売れ残りが生じてしまう場合には、フードシェア

リングの仕組みを積極的に生産者に提案し、農家の収益の増加と生産物廃棄ロスの削減に取り組む。

協定の調印式で工藤祐直町長は「南部町は、果樹を中心とした農業が盛ん。農家のためにも、子供たちの支援にもなる協



協定を締結した南部町の工藤町長（中央）とグラウクスの関藤社長（左）